

03 JUN 2005

特許協力条約



PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

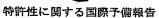
(法第12条、法施行規則第56条) (PCT36条及びPCT規則70)

REC'D	1	6	DEC	2004
WIPO	_			PCT

出願人又は代理人 の書類記号 PCT-A0342-00	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。				
国際出願番号 PCT/J,P03/15503	国際出願日 (日.月.年) 0	4. 12. 20	優先日 (日.月.年)	04.12.	2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ A61K45/00, 3	31/7056, 31/706, 4	A61P3/04, 3/10	43/00	•	
出願人 (氏名又は名称) キッセイ薬品工業株	式会社	,			
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条)の 2. この国際予備審査報告は、この表紙を	D規定に従い 送 付す	る。		<u>·</u> る。	
3. この報告には次の附属物件も添付され a 附属書類は全部で	· 		ページからなる。		·
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細審、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)					
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙					
b 電子媒体は全部で(電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテープルを含む。(実施細則第802号参照)					
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	· 含む。				
 図 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 □ 第 II 欄 優先権 区 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 □ 第 IV欄 発明の単一性の欠如 区 第 V 欄 P C T 3 5 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを取付けるための文献及び説明 区 第 VI欄 ある種の引用文献 □ 第 VI欄 国際出願の不備 区 第 VI欄 国際出願に対する意見 					
- 国際予備審査の請求審を受理した日 29.06.2004		国際予備審査	報告を作成した日 26.11.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPRA/IP)	特許庁審査官	(権限のある職員)	4 C	2938	

電話番号 03-3581-1101 内線 3451

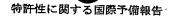
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号



	t= 11			
第Ⅰ概	報告の基礎	·		
1. 2	の国際予備審査報告は、	下記に示す場合を除くほか	・、国際出願の言語を基礎	を とした。
	それは、次の目的で提出 PCT規則12.3及び PCT規則12.4にい		ె.	
2. こ た差替	の報告は下記の出願書類? え用紙は、この報告におい	を基礎とした。(法第69 ハて「出願時」とし、この	た(PCT14条)の規定 ○報告に添付していない。	に基づく命令に応答するために提出され)
X	出願時の国際出願事類	3		
·	明細 掛 第	ページ、 ページ*、 ページ*、 ページ*、	出願時に提出されたもの) 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	請求の範囲		,	NO C四郎 F 個番互成例が支達したもの
	第 第 第 第			
· 🗆	図面 第 <u></u> 第 第	ページ/図、 ページ/図*、 ページ/図*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		た欄を参照すること。		•
3.	補正により、下記の番類	質が削除された。		
	 明細告 請求の範囲 図面 配列表(具体的に質問) 配列表に関連するが	第 第 第 ² 記載すること) テーブル(具体的に記載す	-ること)	ページ 項 ページ/図
4	この報告は、補充欄にえ えてされたものと認めの		添付されかつ以下に示し れなかったものとして作	た補正が出願時における開示の範囲を超 成した。 (PCT規則70.2(c))
	□ 明細書□ 請求の範囲□ 図面□ 配列表(具体的に記□ 配列表に関連するラ	第 第 第 記載すること) ープル(具体的に記載す		ページ 頁 ページ/図
* 4.	・ に該当する場合、その用	紙に "superseded" と記.	入されることがある。	



	_ 								
第	Ⅲ欄 新規性、	進歩性又は	産業上の利用可	丁能性についての	見解の	下作成			
1.	. 次に関して、 審査しない。	当該請求の命	6囲に記載され	ぃている発明の新	規性、社	進歩性又は産業	と と の 利用 可能	€性につき、	次の理由により
	国際出願金	全体		•				•	
	X 請求の範囲	组9	-16			•			•
理				•					
X		類又は請求の命 内容としている		9-16 B載すること)。	<u> </u>		は、国際予備	審査をする。	ことを要しない
				る人体の処	置方法	よに関する	ものである	ప 。	
				,		·	-		
,		, ,		•			•		
		•	•			,		٠	
			•						
									. •
_	•	,		•					•
	明細書、請求記載が、不明	えの範囲若しく B唯であるため	は図面(次に	:示す部分) 又は ことができない	請求の領	通 囲			の
	10年だが、4、11・2	14年(める)にの	人が併せかり	ことかできない	(吳泽市	1に記取するこ	. (ع		
		•	, ,						
				٠		. ,			•
	·	•							
							•		
•								٠.	
	a de sona hos		•	٠					,
Ш) 範囲又は請求 ため、見解を	の範囲 示すことがで	きない.	·			が、明細	書による十分な
<u>.</u>		,	9-16	C.84.9		•			,
X	請求の範囲		,			_	国際調査報告		·
	ヌクレオチド のガイドライ	'又はアミノ酸 ン) に定める	の配列表が、 基準を、次の	実施細則の附属額 点で満たしていた。	書C(塩 ない。	基配列又はア	ミノ酸配列を	含む明細書	等の作成のため
	書面による	配列表が		• ,		提出されてい			
	コンピュー	·夕読み取り可	能な形式によ	る配列表が		提出されてい	満たしていな ない。 満たしていな		
	コンピュータ Cの2に定め	読み取り可能 いる技術的な要	な形式による 件を、次の点	ヌクレオチド又に で満たしていない	はアミノ ハ。	酸の配列表に	関連するテー	ブルが、実	施細則の附風審
		れていない。 技術的な要件	を満たしてい	ない。			•		
	詳細について	は補充概を参	照すること。			,			



第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明 見解 新規性 (N) 請求の範囲 1, 3-8, 17, 19-24 右 請求の範囲 2, 18 進歩性(IS) 請求の範囲 1, 3-8; 17, 19-24 有 請求の範囲 2, 18 産業上の利用可能性 (IA) 請求の範囲 1-8, 17-24 有 請求の範囲

文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: HOSSAIN, Sheikh Julfikar et al., Polyphenol-Induced Inhibition of the Response of Na[†]/Glucose Cotransporter Expressed in Xenopus Oocytes, Journal of Agricultural and Food Chemistry, 2002, Vol. 50, No. 18, pp. 5215-5219

文献2:SCHOLTKA, B. et al., Acute increase, stimulated by prostaglandin E2, in glucose absorption via the sodium dependent glucose transporter-1 in

rat intestine., Gut, 1999, Vol. 44, No. 4, pp. 490-496 文献3: FUJITA, Y. et al., Increased intestinal glucose absorption and postprandial hyperglycemia at the early step of glucose intolerance in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty rats, Diabetologia, 1998, Vol. 41, No. 12, pp. 1459-1466

文献4:SCHR·PPEL B. et al., Expression of glucose transporters in human peritoneal mesothelial cells., Kidney International, 1998, Vol. 53, No. 5, pp. 1278-1287

新規性及び進歩性について 請求の範囲1,3-8,17,19-24について

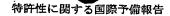
文献1には、SGLT阻害薬であるカテキン類により、グルコースの取り込みが抑制 されるため、当該阻害薬を糖尿病患者のために利用できることが記載されている (第5215頁Abstract)

文献2には、選択的なSGLT阻害薬であるフロリジンによりグルコースの吸収が抑

制されることが記載されている(第490頁Abstract, Fig. 3)。 文献3には、フロリジンによりグルコース負荷後の血糖値の上昇が抑制されるこ

とが記載されている(第1459頁Abstract)。 文献4には、フロリジンによりグルコース誘導体の取り込みが阻害されることが 記載されている(第1278頁Abstract)

したがって、本願請求項1,3-8,17,19-24に係る発明は、文献1-4より新規性及び 進歩性を有しない。



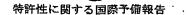
第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出顯番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)
WO 04/014932 A1[EX]	19. 02. 2004.	07. 08. 2003	08. 08. 2002
WO 02/098893 A1[EX]	12. 12. 2002	27. 05. 2002	30. 05. 2001

2. 簪面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付	魯面による開示以外の開示に言及している
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(日.月.年)	書面の日付 (日. 月. 年)





請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

本願の請求の範囲2,18には、「有効成分がGLUT2及び/又はGLUT5阻害作用を実質的に示さないSGLT阻害剤である、請求項1記載の予防または治療剤」と記載されているが、本願明細書に当該性質を有する化合物として具体的に開示されているのは、実施例1または2に記載のもののみである。

例1または2に記載のもののみである。 そして、本願出願時において、当該性質を有する他の化合物が当業者に周知であったとは認められないので、本願の請求の範囲2,18に係る発明のうち、有効成分が上記2つの化合物以外であるものについては、明細書による十分な裏付けを欠いている。